

3 水道施策の推進について

新水道ビジョンの策定

- 現行水道ビジョンの策定から7年以上が経過
- 人口の減少、東日本大震災など、水道を取り巻く環境が変化



新水道ビジョン策定検討会を設置して検討を開始

新水道ビジョン策定検討会

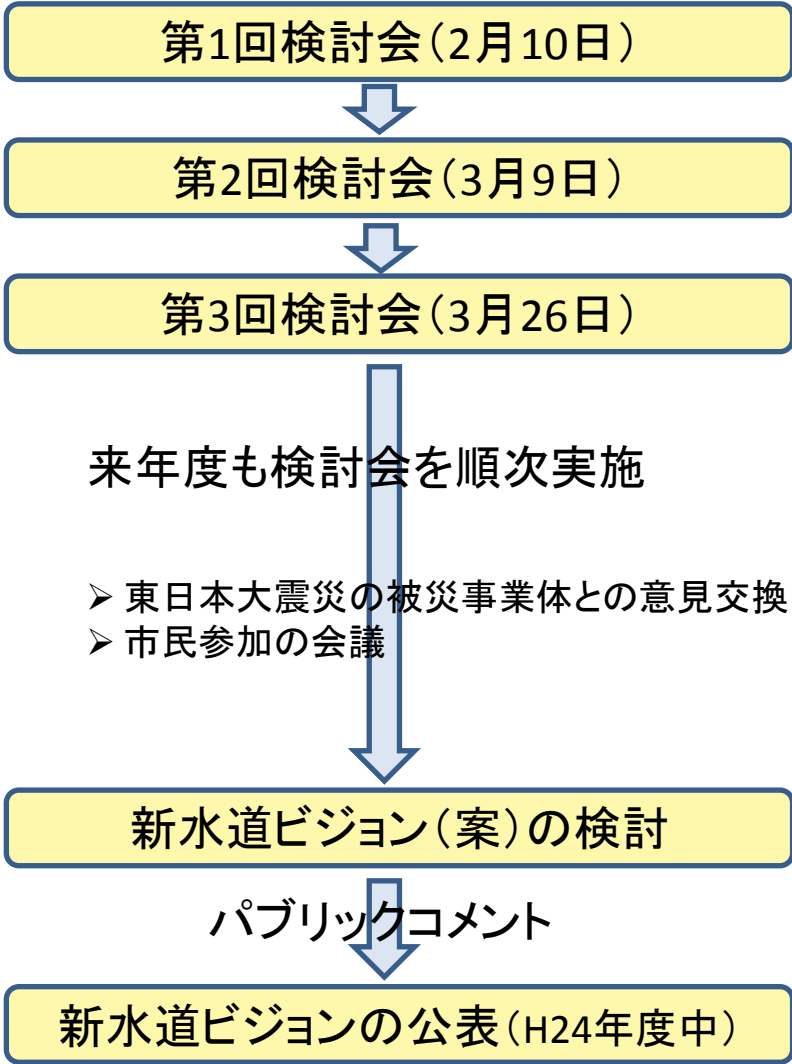
(座長)	浅見 真理	国立保健医療科学院 生活環境研究部 上席主任研究官
	岡崎 徹	全日本水道労働組合 執行委員長
	岡部 洋	社団法人日本水道工業団体連合会 上級アドバイザー
	尾崎 勝	社団法人日本水道協会 専務理事
	木暮 昭彦	埼玉県保健医療部生活衛生課(水道担当) 主幹
	佐藤 裕弥	浜銀総合研究所 地域戦略研究部 地域経営研究室 室長
	滝沢 智	東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授
	長岡 裕	東京都市大学 工学部 都市工学科 教授
	服部 博光	一般社団法人 水道運営管理協会 代表理事
	平田 水夏	横浜市水道局「水のマイスター」
	吉岡 律司	岩手県矢巾町上下水道課業務係 主査

新水道ビジョンの策定

新水道ビジョンの視点

- ◆ 50年、100年先を見据え、課題解決の方向性を示す
- ◆ 国、都道府県、水道事業者等の役割分担を明確に示す
- ◆ 東日本大震災を踏まえ危機管理のあり方を検討
- ◆ 老朽化に対する更新需要、人口減少への対応、アセットマネジメントの活用、使用エネルギーの低減などを踏まえた水道の運営基盤の強化を検討
- ◆ 有害物質対策、小規模水道の管理など安全な水の確保を検討
- ◆ 住民等との連携のあり方等の検討
- ◆ 国際展開のあり方等の検討

検討スケジュール



水道ビジョンと地域水道ビジョン

キーワード：目標

安心

すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給

安定

いつでもどこでも安定的に生活用水を確保

持続

地域特性に合った運営基盤の強化、水道文化・技術の継承、需要者ニーズを踏まえた給水サービスの充実

環境

環境保全への貢献

国際

我が国の経験の海外移転による国際貢献

施策

安心・快適な給水の確保

災害対策等の充実

水道の運営基盤強化

環境・エネルギー対策の強化

国際協力等を通じた国際貢献

今世紀半ば我が国水道のあるべき姿

水道ビジョン

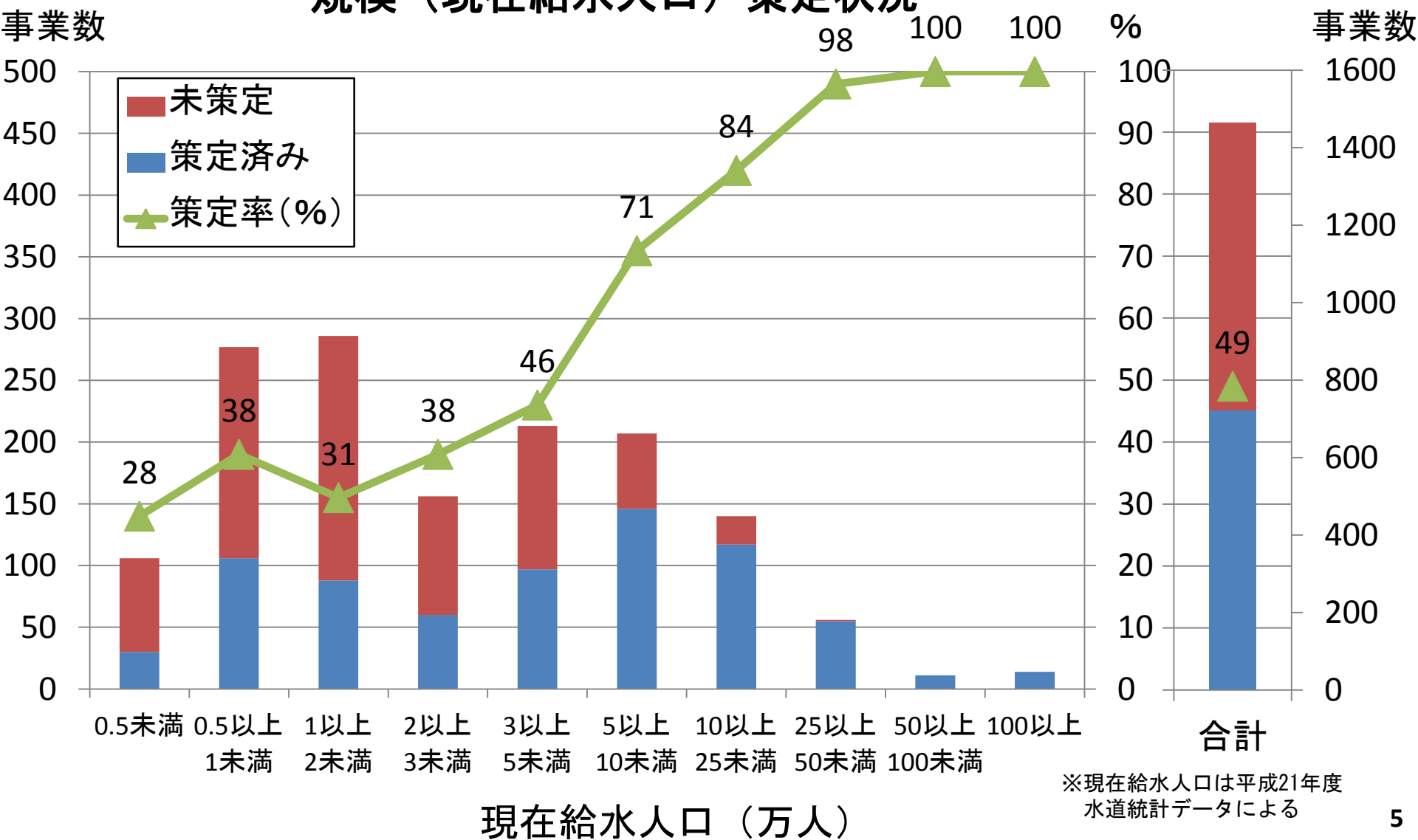
地域ごと・事業者ごとの具体目標の提示

地域水道ビジョン

地域水道ビジョン策定状況 (上水道事業規模別)

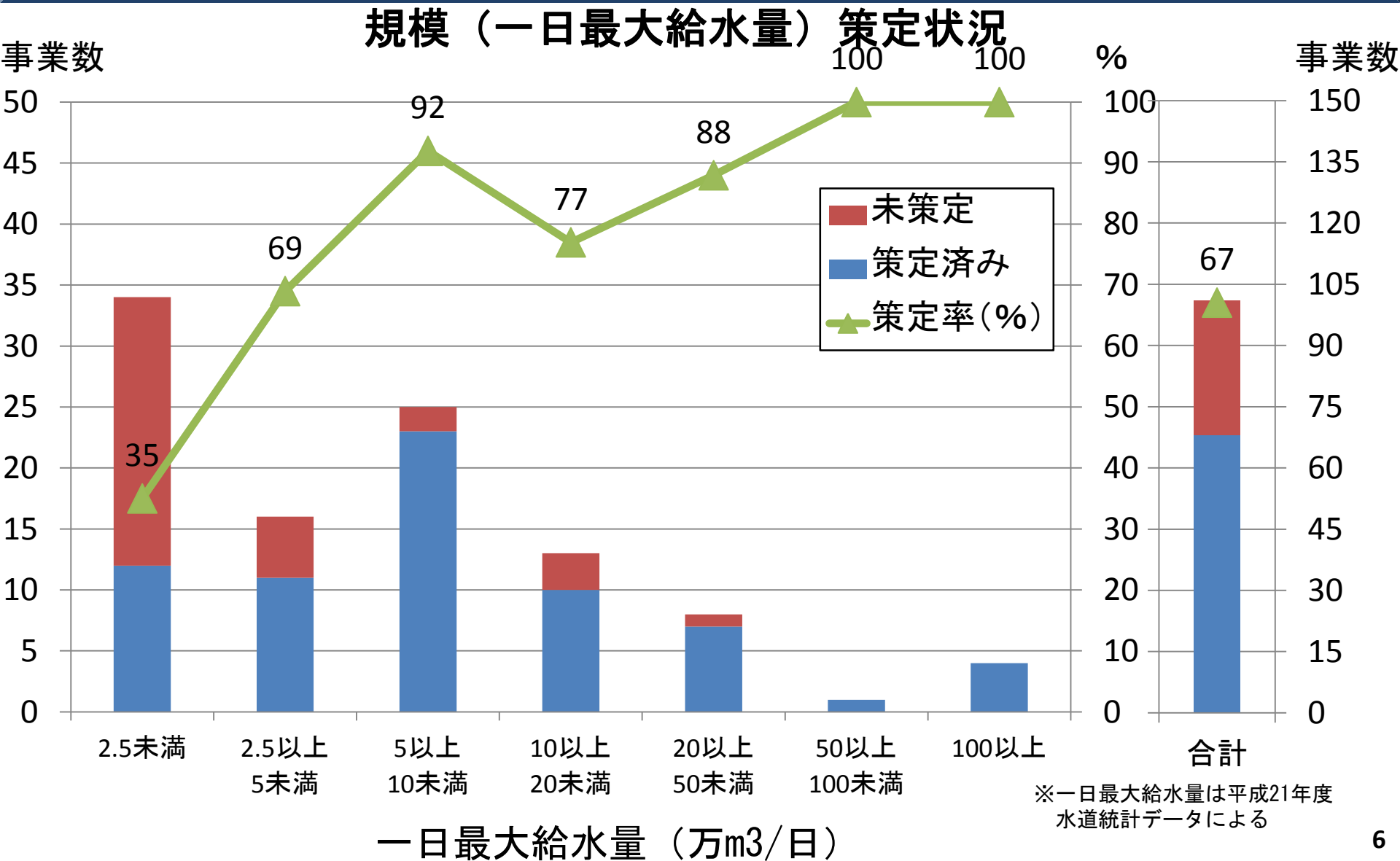
H24年3月1日現在

規模（現在給水人口） 策定状況



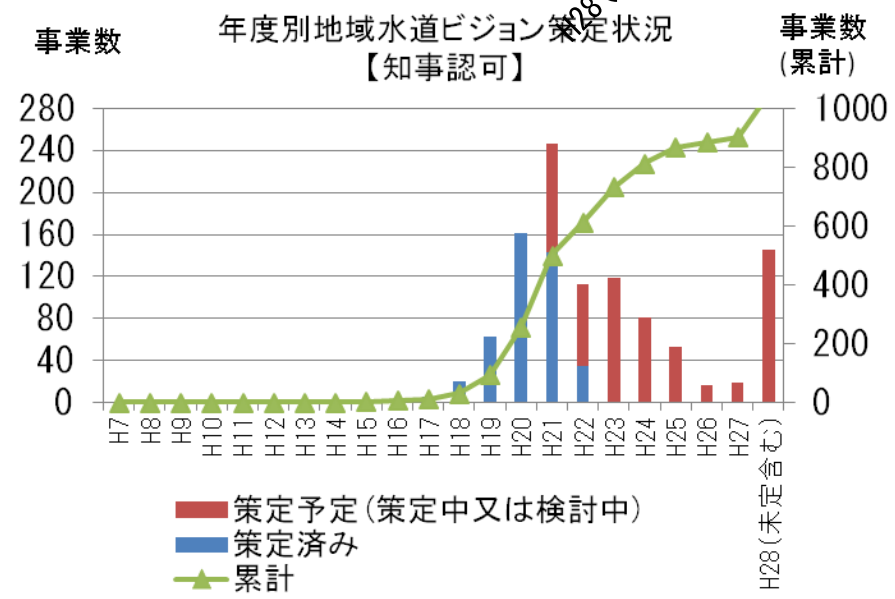
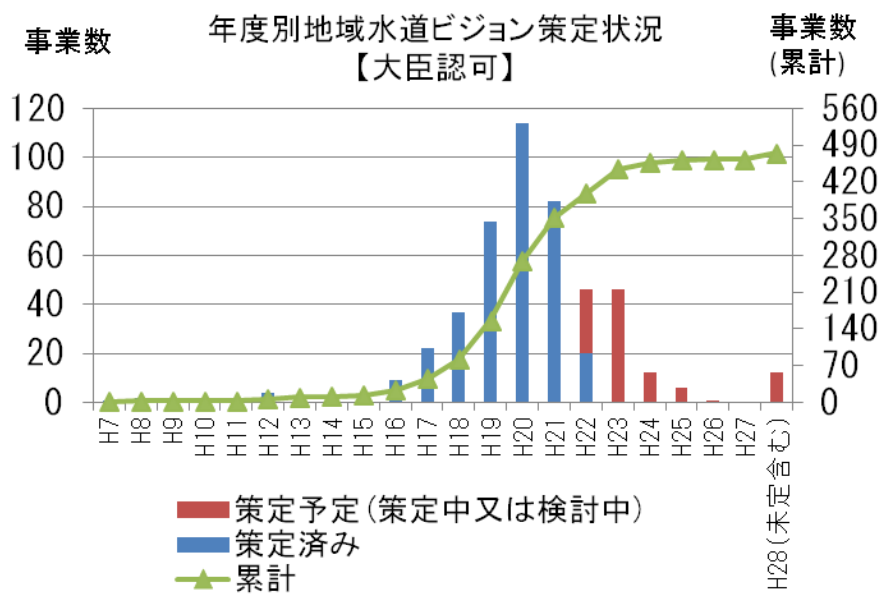
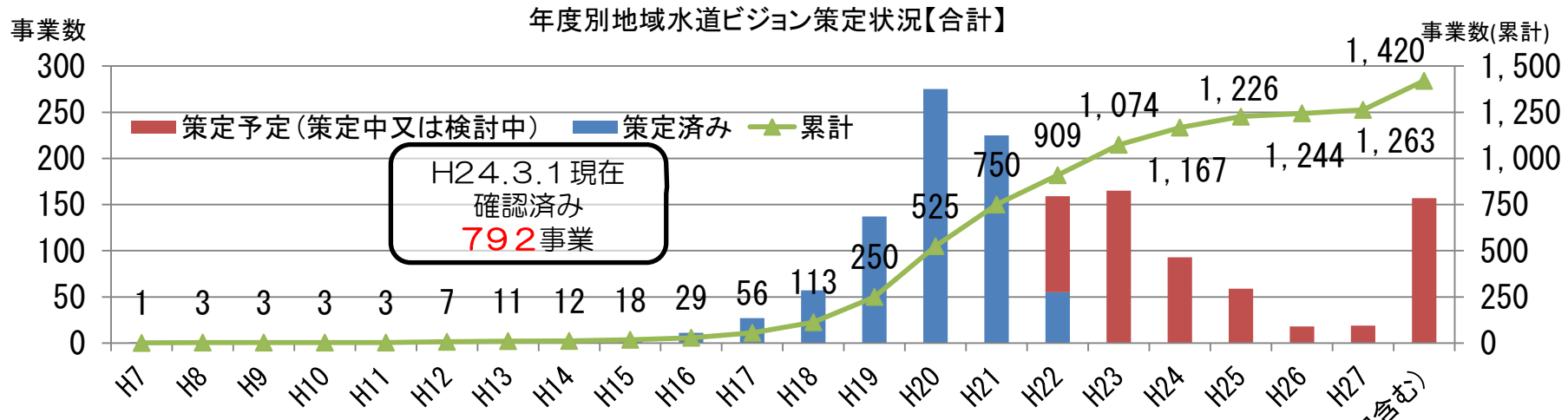
地域水道ビジョン策定状況 (用水供給事業規模別)

H24年3月1日現在



地域水道ビジョン策定見込み

(H22年度運営状況調査集計結果)



都道府県版地域水道ビジョン策定状況

H24年3月1日現在

